

平成21年1月29日

各 位

上場会社名 高砂鐵工株式会社
 代表者 代表取締役社長 吉田 保
 (コード番号 5458)
 問合せ先責任者 経理部長 畑田 正樹
 (TEL 03-5399-8111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年7月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,000	350	150	△650	△21.63
今回発表予想(B)	28,000	△1,300	△1,500	△1,700	△56.57
増減額(B-A)	△7,000	△1,650	△1,650	△1,050	――
増減率(%)	△20.0	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	36,503	835	637	0	0.01

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	350	200	△250	△8.32
今回発表予想(B)	20,000	△1,250	△1,400	△1,200	△39.93
増減額(B-A)	△6,000	△1,600	△1,600	△950	――
増減率(%)	△23.1	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	25,751	532	380	△94	△3.15

修正の理由

当社グループの主要事業である鉄鋼製品事業において、ニッケル原料価格の低落、それに伴う販売価格の下落、買い控えの流れは変わらず、一方、鉄鋼原料やクロム原料は大幅に上昇している中で販売価格への転嫁は遅れ気味で推移する等、厳しいマーケット環境が続く中で、第3四半期以降、金融危機の実体経済への悪影響による主要産業の変調からステンレス部門、みがき帯鋼部門ともに自動車業界向を中心とする需要の急激かつ大幅な減少の影響により、売上高が大きく落ち込み、事業採算が大幅に悪化いたしました。

さらに、モーターサイクル関連部品事業においても、国内外ともに需要の極めて大幅な減少に見舞われており、当面回復が見込みにくい状況であります。

経営環境は厳しい状況が続くことが予想されるため、業績予想を修正いたします。

これらの状況を踏まえ、これまで役員報酬・管理職給与の減額、休業実施による雇用調整助成金の申請、その他コスト削減を進めてまいりましたが、今後、みがき帯鋼事業拠点の本社地区への移転集約事業の繰上実施をはじめとして、コスト削減を加速させるとともに、さらなる抜本的収益改善策にも取り組んでまいります。

【業績予想に関する留意事項】

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以 上